

地域の話合いを通じた、地域団体と養蜂業者が連携した蜜源作物の作付による農地保全

まくらざきし
〔鹿児島県枕崎市〕

| | | | |
|------|-------|------------|----------|
| 新規就農 | 企業参入 | 6次産業化 | 農地中間管理機構 |
| 農福連携 | 鳥獣害対策 | 地域・集落の共同活動 | その他 |

1. 地域農業の状況

- 枕崎市は鹿児島県薩摩半島の南端に位置し、南は広大な東シナ海を臨む景勝の地で、温暖で比較的多雨な地域である。
- 田布川地区は、枕崎市の北部の山間部に位置する農村地域で、高齢者の割合が6割と高く（R3末時点）、地域営農の継続や農地の保全が将来的に危惧される地域である。
- 本地区では、地域住民が組織する「夢蛸たぶかわ2016」により、地域の環境整備や農地保全を行っているが、その組織の構成員も高齢化が進みつつあり、作業労力の低下や地域の大規模農家の離農、鳥獣被害の多発を理由とした入り作農家の撤退も相次ぎ、今後、地区内の農地の急速な荒廃化が懸念されるところであった。
- このような中、春先の蜜源植栽の拡大を検討していた養蜂業者が農地中間管理機構や枕崎市へ植栽場所の相談を行ったことがきっかけとなり、養蜂業者の希望と農地の有効活用を模索していた田布川地区の希望とが一致したことから、国の農山漁村振興交付金（最適土地利用対策）を活用し、地区内農地保全の取組を行うこととしたもの。



話合いの様子



レンゲ草、採蜜準備、加工品

2. 地区概要

| | | | |
|------|----------------------|------|---------------|
| 取組主体 | 枕崎市担い手育成総合支援協議会 | 地区名 | 田布川（たぶがわ）地区 |
| 再生面積 | 1.29ha（5年間で6.56ha予定） | 取組年次 | 令和3年度～ |
| 作付作物 | レンゲ、菜の花等 | 販路 | 連携者（養蜂家）による販売 |

3. 取組内容及び効果

農山漁村振興交付金(最適土地利用対策)を活用して、荒廃農地を再生

- 農地について地域ぐるみの話合いを実施し、最適土地利用計画を策定。
- 条件の良い農地は、担い手農家が引き続き経営し、甘しょや茶の耕作面積の維持・拡大を図る。
- 再生利用が可能な荒廃農地30aと遊休農地100aの計130aを年間再生目標に掲げ、今後5年間で656aの農地を再生（令和3年度：129aの再生）し、蜜源作物（レンゲ・菜の花など）の作付を行い、**養蜂家と「夢蛸たぶがわ2016」が一体となり、優良農地の持続性を確保**する。



活用した
支援策

R3 農山漁村振興交付金（最適土地利用対策）（国）